

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

<b>事業名</b> 一般国道168号 一分バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 奈良県
<b>起終点</b> 自：奈良県生駒市小瀬 至：奈良県生駒市東生駒	<b>延長</b> 2.8 km	
<b>事業概要</b> 一般国道168号は、和歌山県新宮市から奈良県を経て大阪府枚方市に至る延長約176kmの幹線道路である。一分バイパスは、現道の幅員狭小の解消や市街地の交通混雑を緩和するとともに、第二阪奈有料道路とのアクセス道路として地域の活性化を図る延長2.8kmの4車線道路である。		
S59年度事業化	S42年度都市計画決定 (H6年度変更)	S60年度用地着手 H3年度工事着手
<b>全体事業費</b>	約180億円	<b>事業進捗率</b> : 92% <b>供用済延長</b> : 1.3 km
<b>計画交通量</b>	20,400~34,800台/日	
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.8 (残事業) 4.6	<b>総費用</b> (残事業)/ (事業全体) 70 / 233 億円 〔事業費 : 69 / 230億円 維持管理費 : 1 / 3億円〕 <b>総便益</b> (残事業)/ (事業全体) 322 / 425 億円 〔走行時間短縮便益 : 280 / 374億円 走行費用減少便益 : 35 / 44億円 交通事故減少便益 : 8 / 7億円〕
<b>基準年</b> : 平成15年		
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。） ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間が解消される。） 他4項目に該当する。		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 一分バイパスは、幅員狭小の解消や交通渋滞の緩和が期待されており、生駒市議会より早期整備の要望（H14年10月）を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 宅地開発に伴い、人口、交通量ともに増加傾向にある。 第二阪奈有料道路（一分ランプ）が平成9年に開通した。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地買収率（面積）97%、工事進捗率（事業費）86%であり、1.3 kmを部分供用している。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 用地買収交渉の難航により遅延していたが、未買収地の取得を積極的に進め、事業の進捗を図る。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 特になし		
<b>対応方針</b> : 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらない。		
<b>事業概要図</b>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。